

2025年12月期 中間決算 補足説明資料(連結)

2025年8月26日
シンクレイヤ株式会社
証券コード:1724

- 01** 2025年12月期 中間決算サマリー
- 02** SYNCLAYERについて
- 03** 市場環境・業績の概要
- 04** 今後の事業規模拡大に向けて

01 2025年12月期 中間決算サマリ

2025年12月期 中間業績サマリー(経営成績)

前年同期比で売上高は微減、営業利益は増益、経常利益・純利益で減益

売上高	：	4,936百万円	前年同期比 (▲2.8%)
営業利益	：	156百万円	(9.7%)
経常利益	：	98百万円	(▲41.7%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	：	56百万円	(▲52.2%)

TI部門

減収増益

機器I部門

増収減益

トータル

減収減益

CF

大幅プラス

- ・営業増益なるも為替差損発生により経常減益
- ・キャッシュフローは営業債権の回収が進み大幅プラス

2025年12月期 中間業績サマリー(財政状況)

自己資本比率は60%を超え、強固な財務基盤を維持

(単位:百万円)

	FY2024 期末	FY2025 2Q	増減	主な要因
流動資産	7,544	5,892	▲ 1,651	完成工事未収入金の減少
固定資産	3,808	3,813	5	
資産合計	11,352	9,706	▲ 1,646	
流動負債	4,433	2,750	▲ 1,683	短期借入金金の減少
固定負債	772	864	92	長期借入金金の増加・長期未払金の減少
負債合計	5,206	3,615	▲ 1,591	
純資産合計	6,146	6,090	▲ 55	配当金の支払い・為替換算調整勘定の減少
自己資本比率	54.1%	62.8%	8.7pt	

02 SYNCLAYERについて

社名 シンクレイヤ株式会社

代表者 代表取締役社長 山口 正裕

本社所在地 愛知県名古屋市中区千代田二丁目21番18号

設立 1962年5月2日

資本金 8億3,574万5,393円

従業員数 169名(連結:267名)

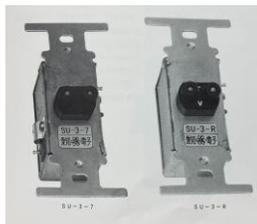
グループ会社 ケーブルシステム建設株式会社
奥田電気工業株式会社
愛知電子(中山)有限公司

事業内容 ケーブルテレビシステム及び情報通信システム関連の設計、施工、保守及びコンサルタント
ケーブルテレビシステム機器、情報通信システム機器及びそれらの周辺機器の製造、購入及び販売
ケーブルテレビシステム、情報通信システムの導入に関する情報の提供、教育及び指導



1962

愛知電子株式会社を設立
直列ユニットの開発



1973

株式会社愛起(現:ケーブルシステム建設株式会社)を設立



1977

可児工場開設



1981

国内初の商用CCISシステムを納入

1994

海外生産拠点として愛知電子(中山)を設立

1996

国内初の商用ケーブルインターネットシステムを納入

2002

「シンクレイヤ株式会社」へ商号変更

2003

日本証券業協会JASDAQへ上場(証券コード 1724)

2011

国内初のRFoG対応機器及び低受光型V-ONUを発表

2015

10G-EPONシステムを納入



2021

大型工事案件、機器販売の拡大により過去最高益を達成

2022

ローカル5G実証実験への参画

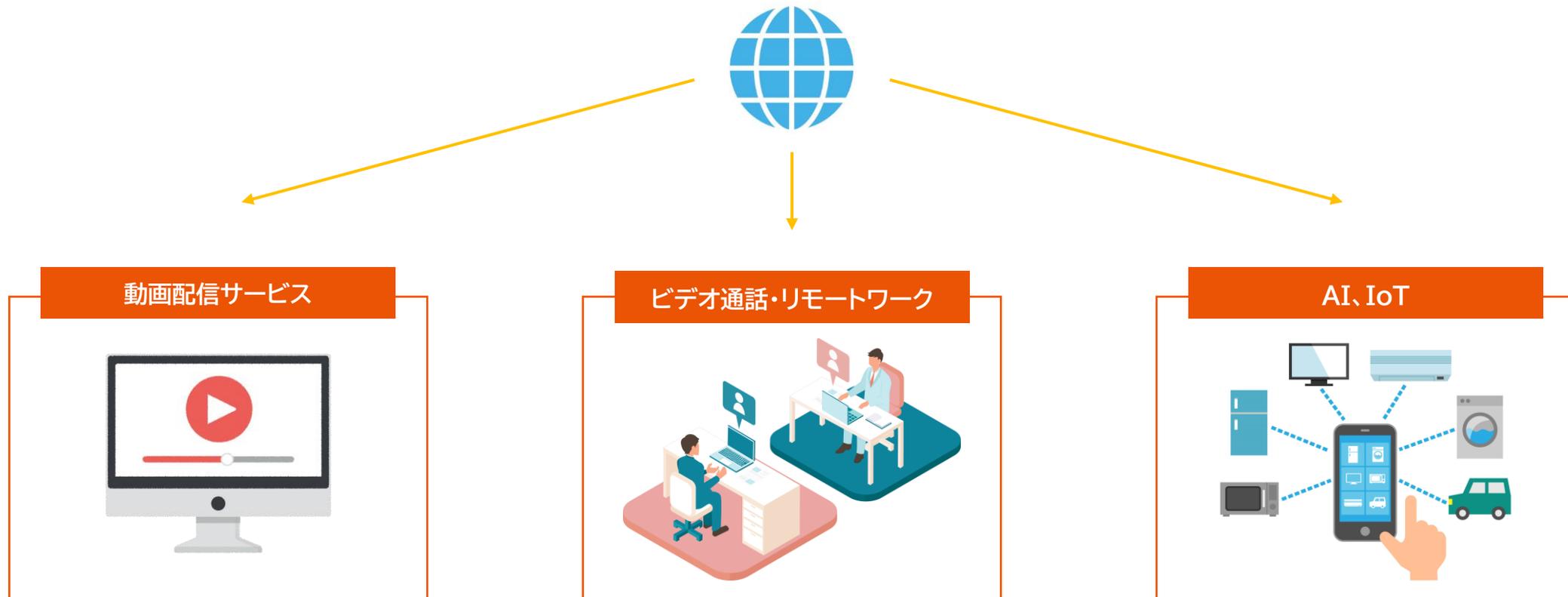
2024

SYNC Labo開設

SORC-100シリーズがグッドデザイン賞を受賞

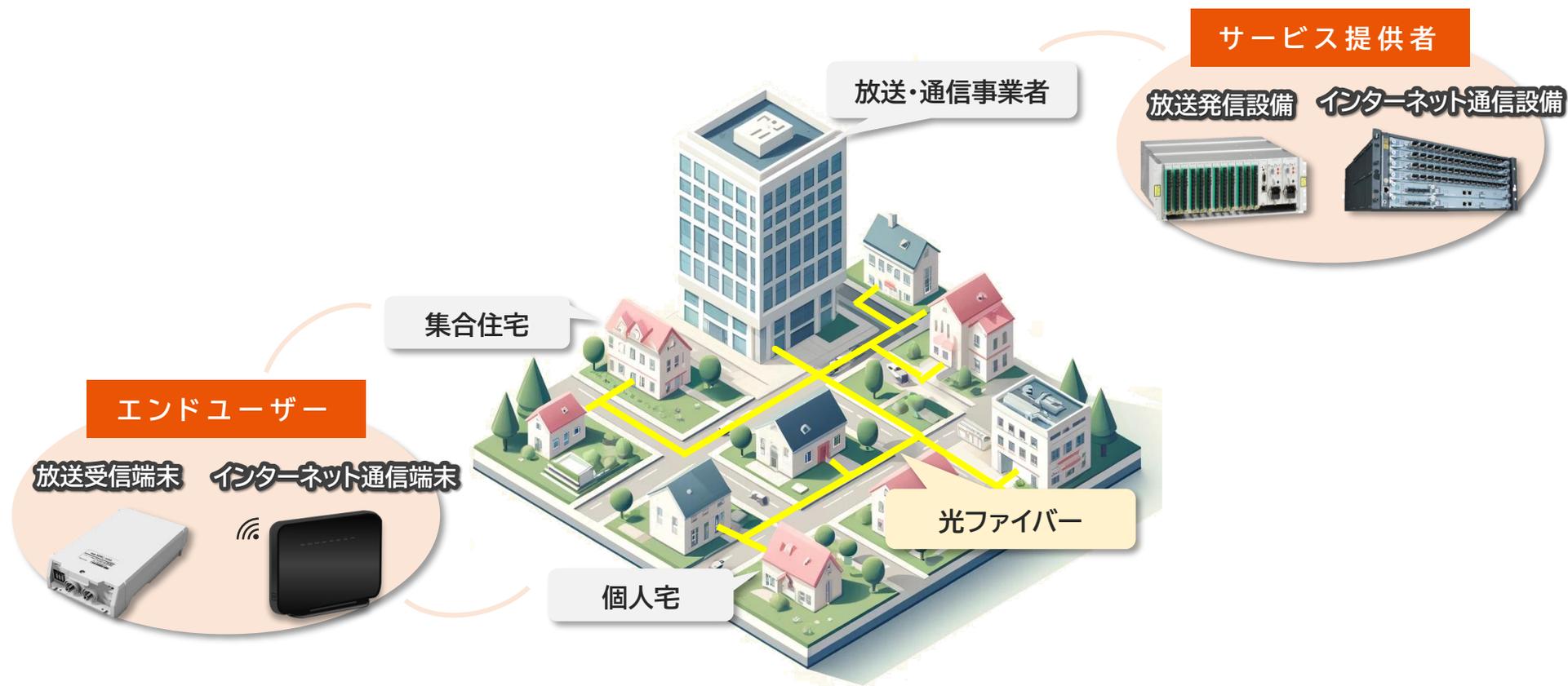


近年、情報通信分野における需要は高水準を維持しており、
私たちの生活に必要不可欠なものとなっている



シンクレイヤが提供する製品・システム(概要)

インターネットやテレビ放送を届けるサービス提供者からその消費者まで、
システムや機器などの技術を提供



工事・機器販売・保守サポートまで対応可能

2つの事業部門により「情報インフラ全体の構築」を行う

1

トータル・インテグレーション部門



放送・通信センター設備の提供及び
光ファイバーネットワークの設計・工事

2

機器インテグレーション部門



エンドユーザー宅に設置する
光端末(放送用・通信用)の提供

放送・通信事業者のシステム設備を一貫してサポート
設計・施工・保守までを当社で行う「施工管理会社」の役割を持つ



ニーズに沿った
ネットワーク設計



施工



保守・メンテナンス

時代に合った最先端の放送・通信機器の開発・製造を行い、
放送・通信事業者のニーズに沿って販売する「メーカー」の役割を持つ

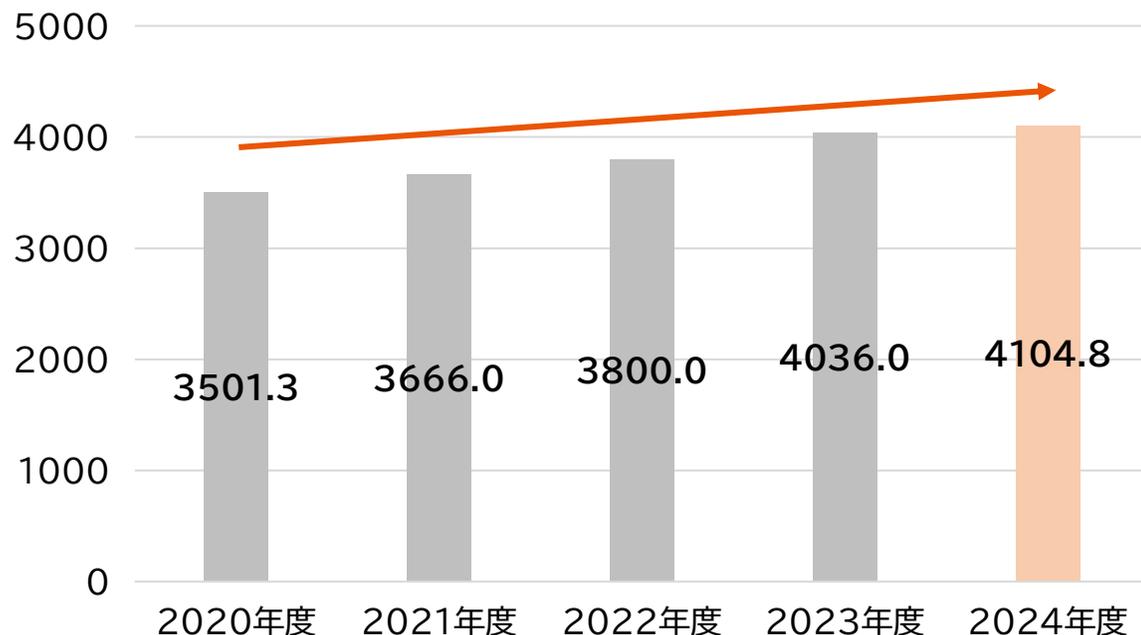


03 市場環境・業績の概要

光回線サービスの契約数は4,104.8万件(年間で68.8万件増加)

CATV局のエリア拡大や高速・高品質な通信ニーズが固定ブロードバンド業界の成長を支える

光回線サービス契約数は緩やかに成長



参考:MM総研「ブロードバンド回線事業者の加入件数調査」(2025年3月末時点)をもとに当社作成

市場を取り巻く環境の変化

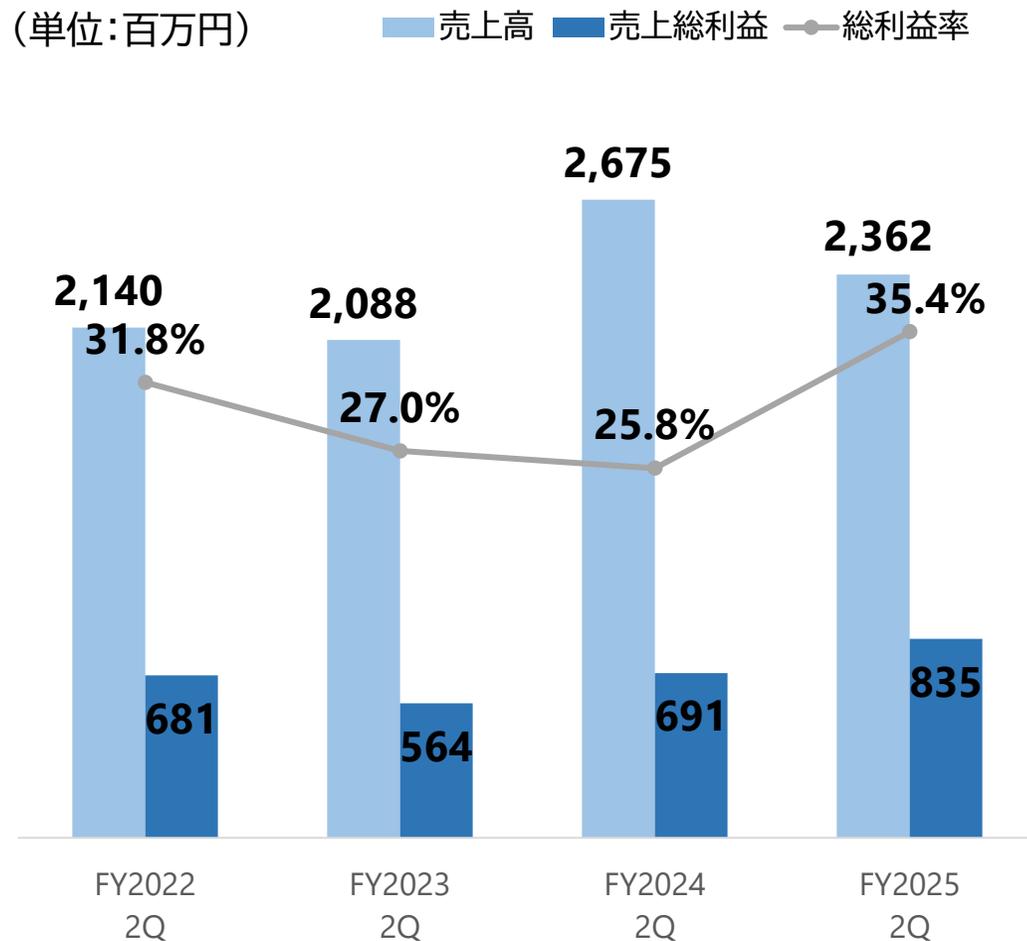
■HFCからFTTHへの移行が加速

戸建てや集合住宅への光回線導入が順調に進展している。
JCOMなど大手のほか、各ケーブルテレビ局も自前の光ファイバー網構築及びNTTの光回線設備の活用によりサービス提供エリアを拡大、契約者数を伸ばしている。

■高速・高品質な通信ニーズ

10Gbps対応プランの普及やWi-Fi7対応ルーターの提供拡大など、高速かつ高品質な通信ニーズが増加。

前期末に工事が進捗した反動で売上は減少、売上総利益率を改善し増益



売上

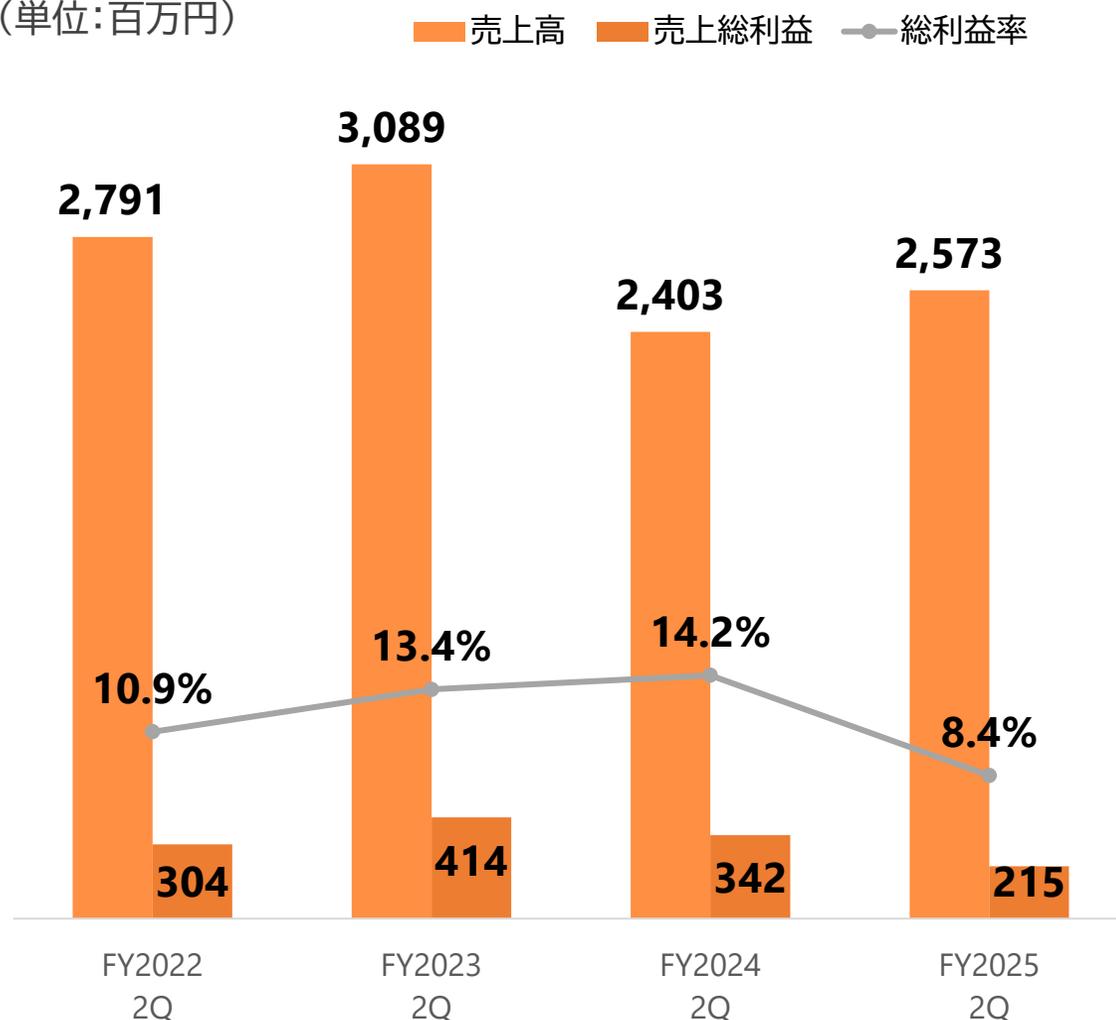
複数の大型光化工事案件が順調に完工したものの、前連結会計年度末までの進捗が大きく当期への貢献は限定的となり、短工期で高付加価値である案件の完工に努めた結果、売上高は2,362百万円(前年同期比11.7%減)

利益(売上総利益)

一時的に低下していた利益水準が適正水準へと回復したことに加え、高付加価値案件の構成比が上昇したことにより営業利益は増益

通信・放送用光端末の販売が堅調に推移、売上総利益は減益

(単位:百万円)



売上

放送および通信用端末の販売が堅調に推移し、売上高は2,573百万円(前年同期比7.1%増)

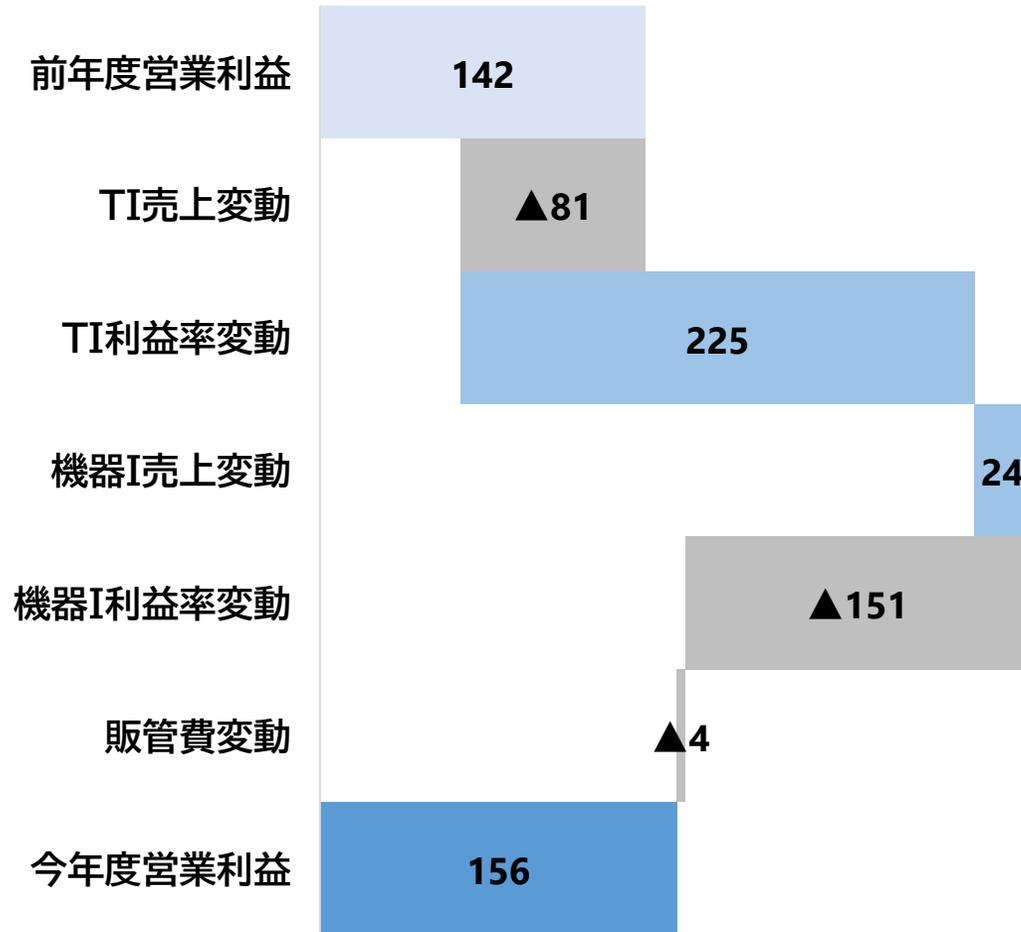
利益(売上総利益)

物価高による原材料費の高騰が続くなか、必要に応じた価格改定を行ってはいるものの、競争環境の影響から十分な転嫁が難しく減益

営業利益増減(前年同期比)

TI部門の利益率上昇の影響が大きく増益、機器Iの利益率改善に課題を残す

(単位:百万円)



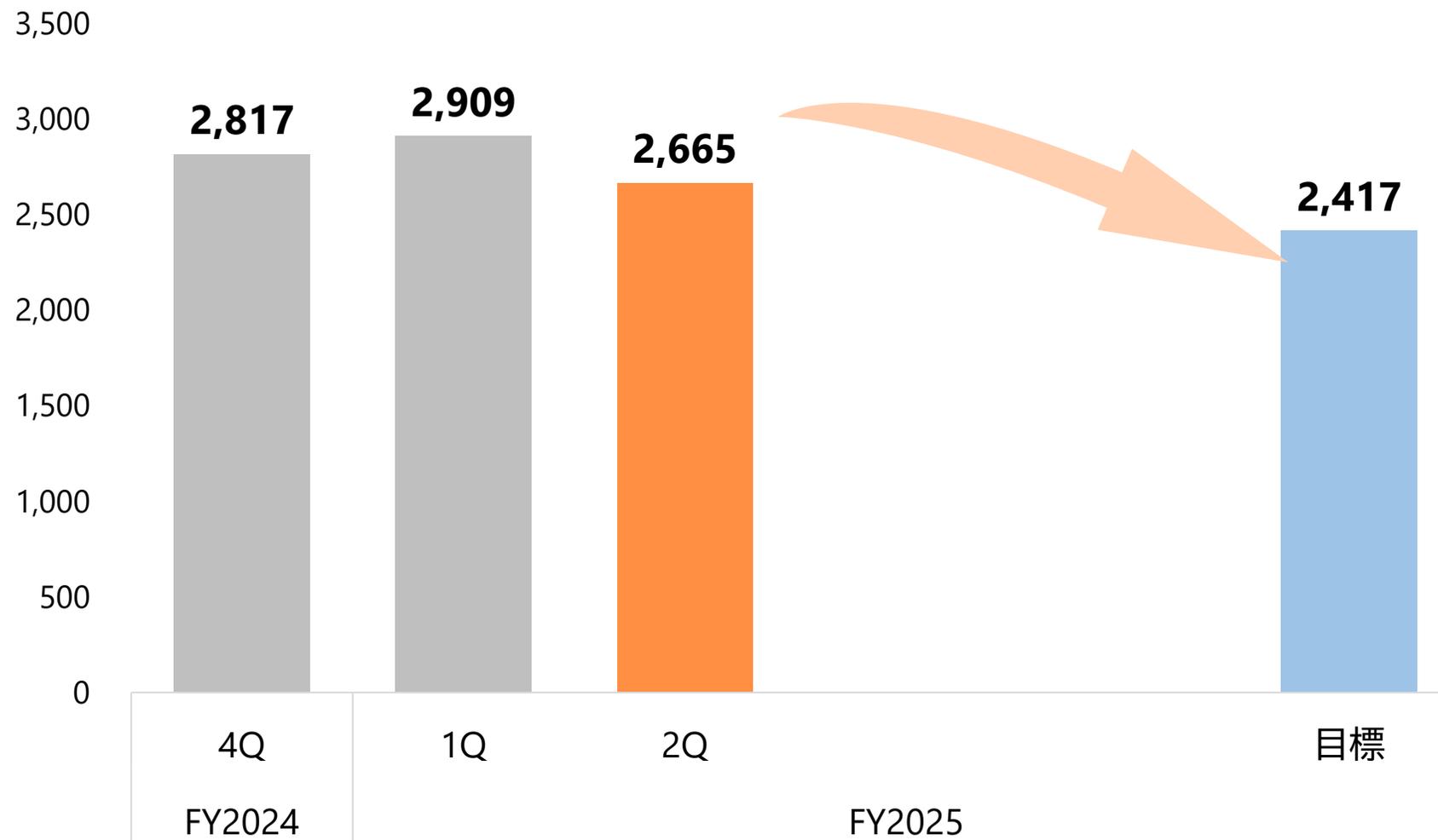
売上及び原価要因(+17百万円)

- ・売上の減少(トータル・インテグレーション部門)
- ・売上総利益率の増加(トータル・インテグレーション部門)
- ・売上総利益率の減少(機器インテグレーション部門)

効率性向上に向けた数値目標の進捗

第1Qと比べ棚卸資産は減少、下期にかけて引き続き削減に努める

(単位:百万円)



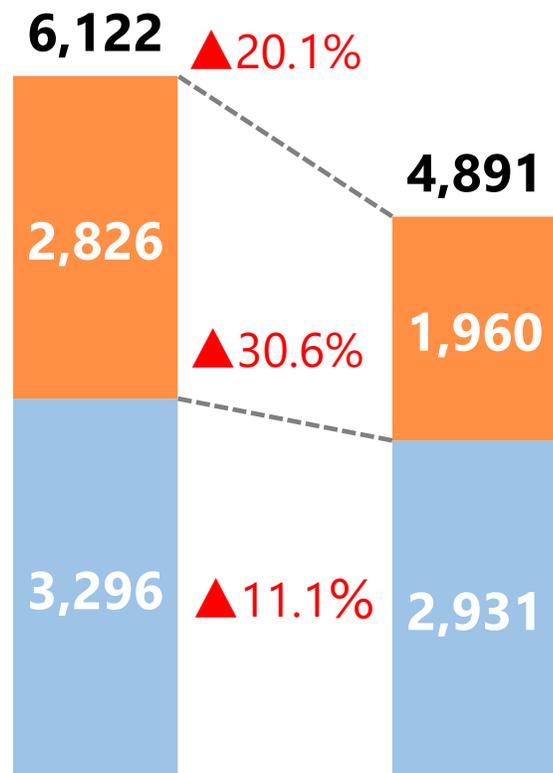
部門別 受注高・売上高・受注残高

工事完工により受注残高が減少。引き続き、大型工事案件を含む受注活動を積極的に推進

- 機器インテグレーション部門
- トータル・インテグレーション部門

受注高

(単位:百万円)

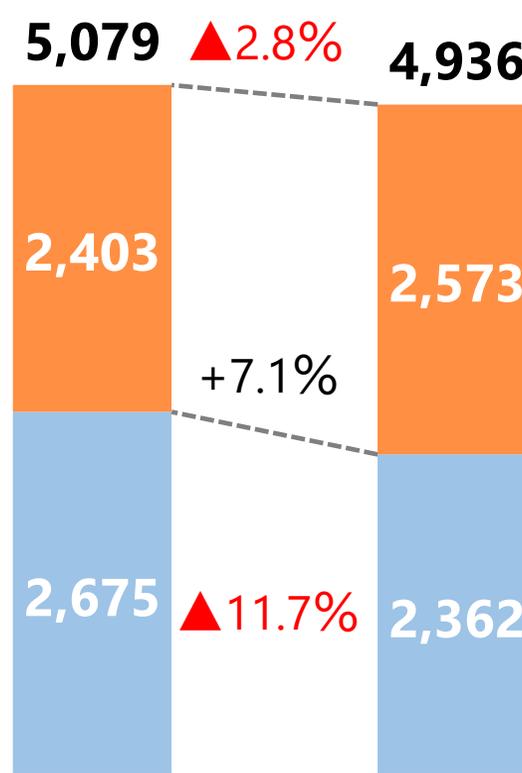


FY2024
2Q(累計)

FY2025
2Q(累計)

売上高

(単位:百万円)

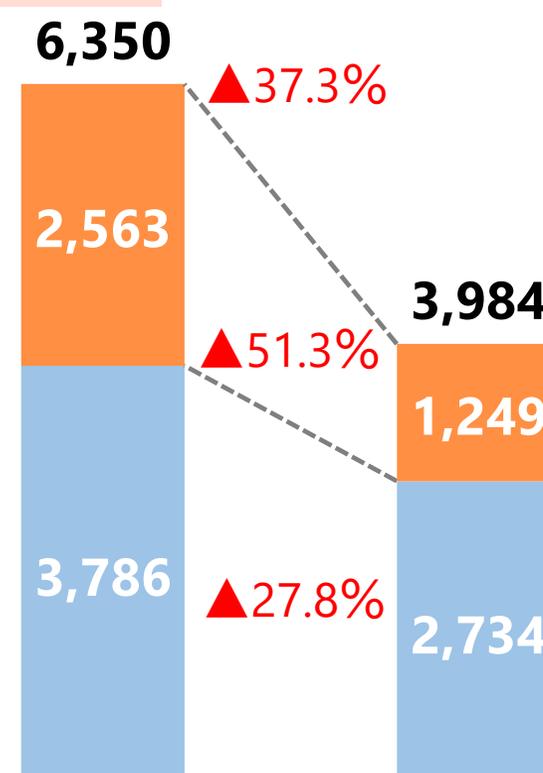


FY2024
2Q(累計)

FY2025
2Q(累計)

受注残高

(単位:百万円)



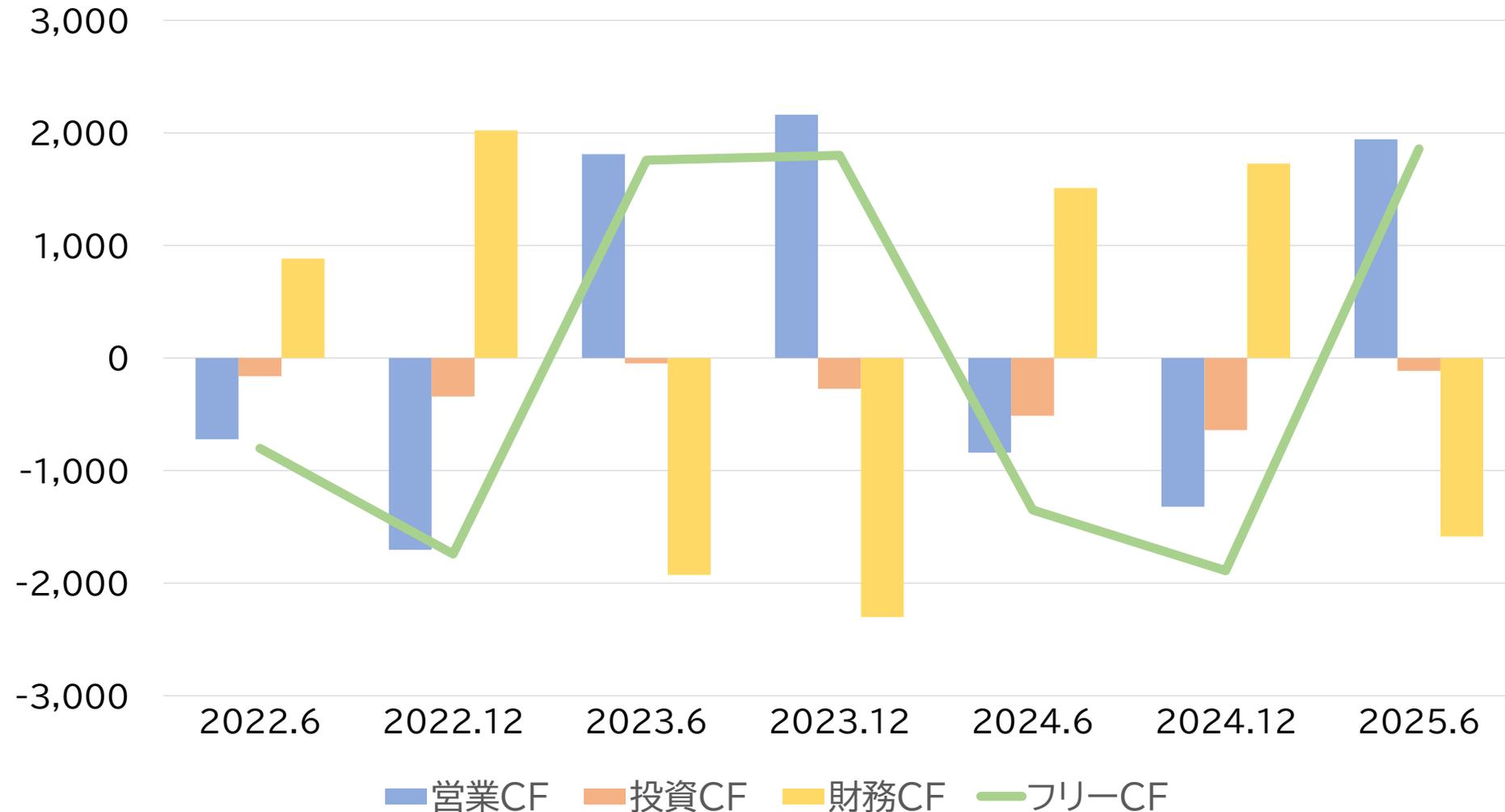
FY2024
2Q(累計)

FY2025
2Q(累計)

キャッシュフローの状況

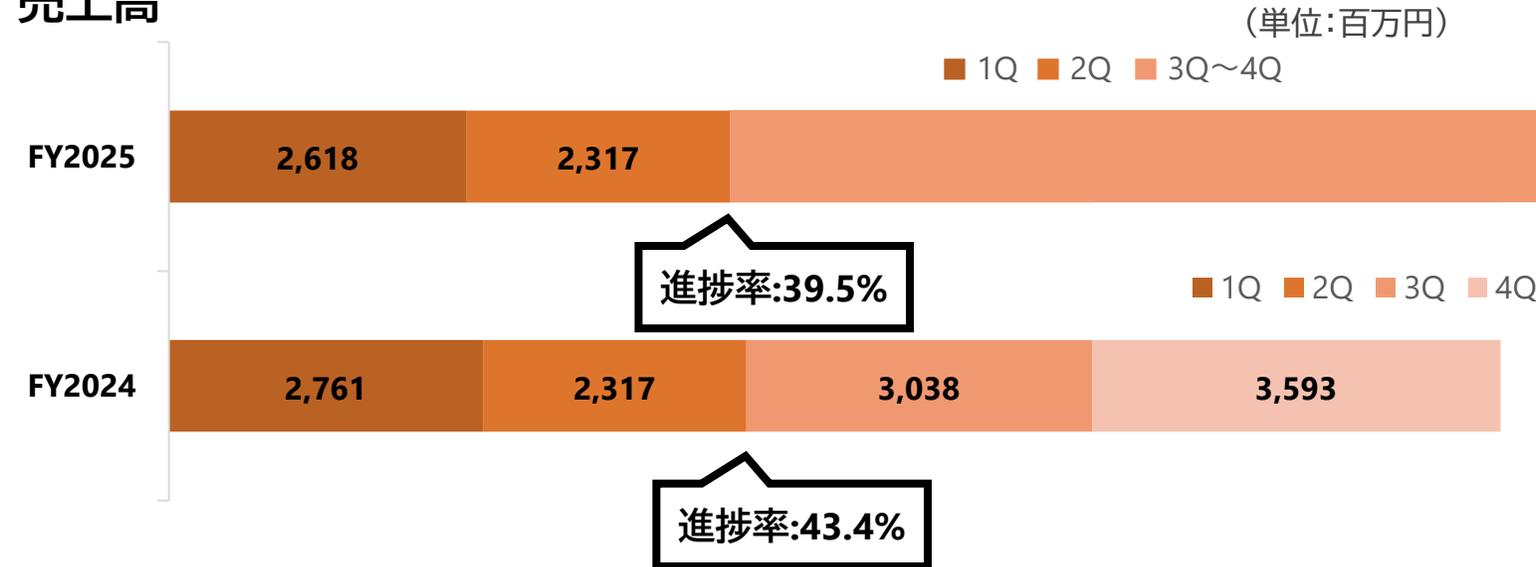
前年は営業CFが一時的にマイナスだったが、着実な回収が進みフリーCFはプラスを確保

(単位:百万円)



2025年12月期 中間累計進捗

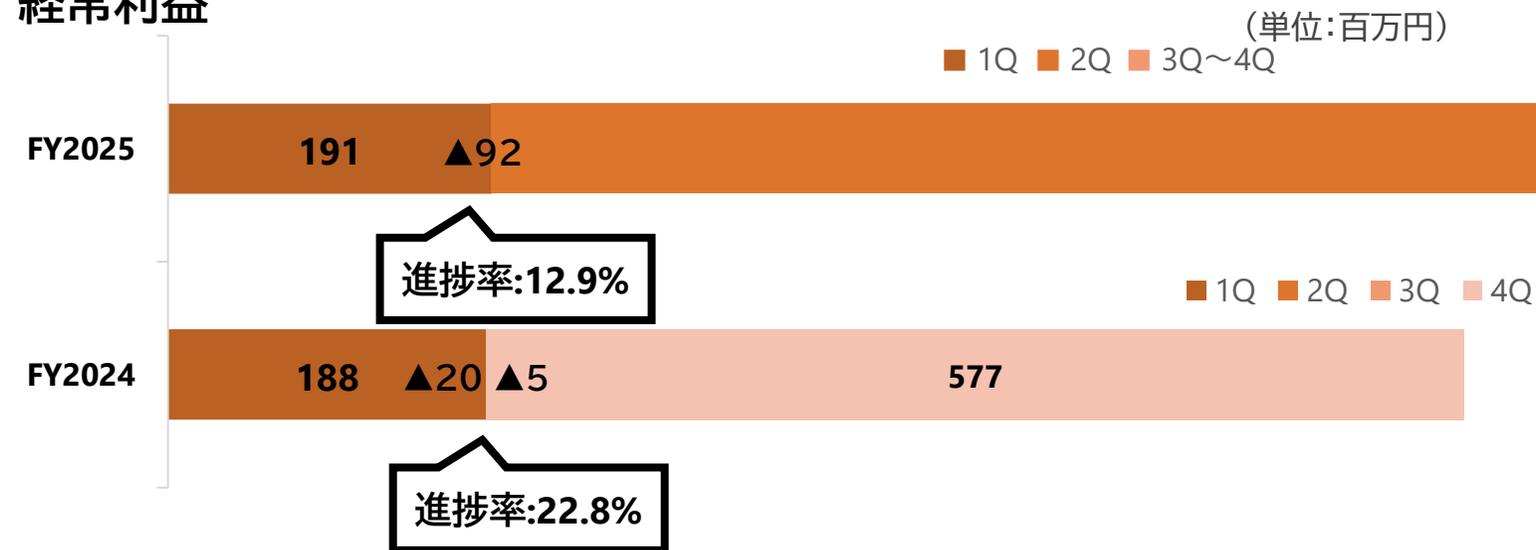
売上高



2025年12月期(予想)
12,500百万円

2024年12月期(実績)
11,711百万円

経常利益



2025年12月期(予想)
760百万円

2024年12月期(実績)
741百万円

04 今後の事業規模拡大に向けて

PLAN2026 テーマ

未来を切り拓く ～継続的成長のための3つの柱～

PLAN2026 基本方針

1. 既存技術・既存顧客のさらなる深耕

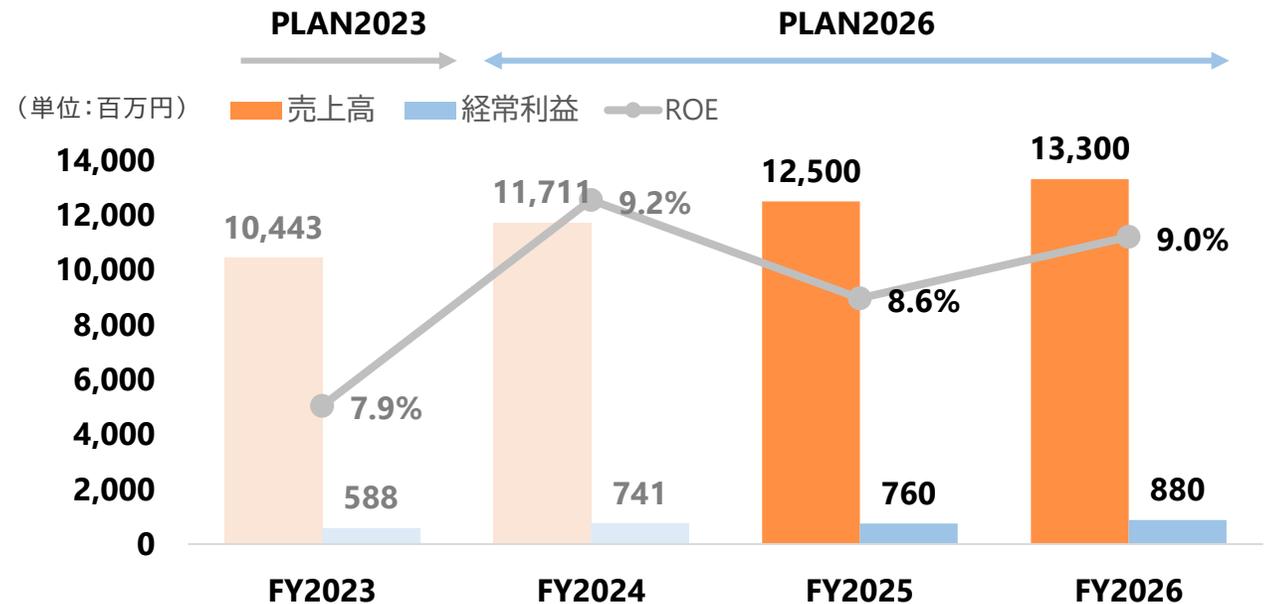
FTTH関連機器・工事における更なるシェア拡大に向けた施策

2. 持続的な成長に向けた新領域の探索

地域DXに貢献できる成長性の高い分野への挑戦

3. 組織・人事の改革、デジタル活用

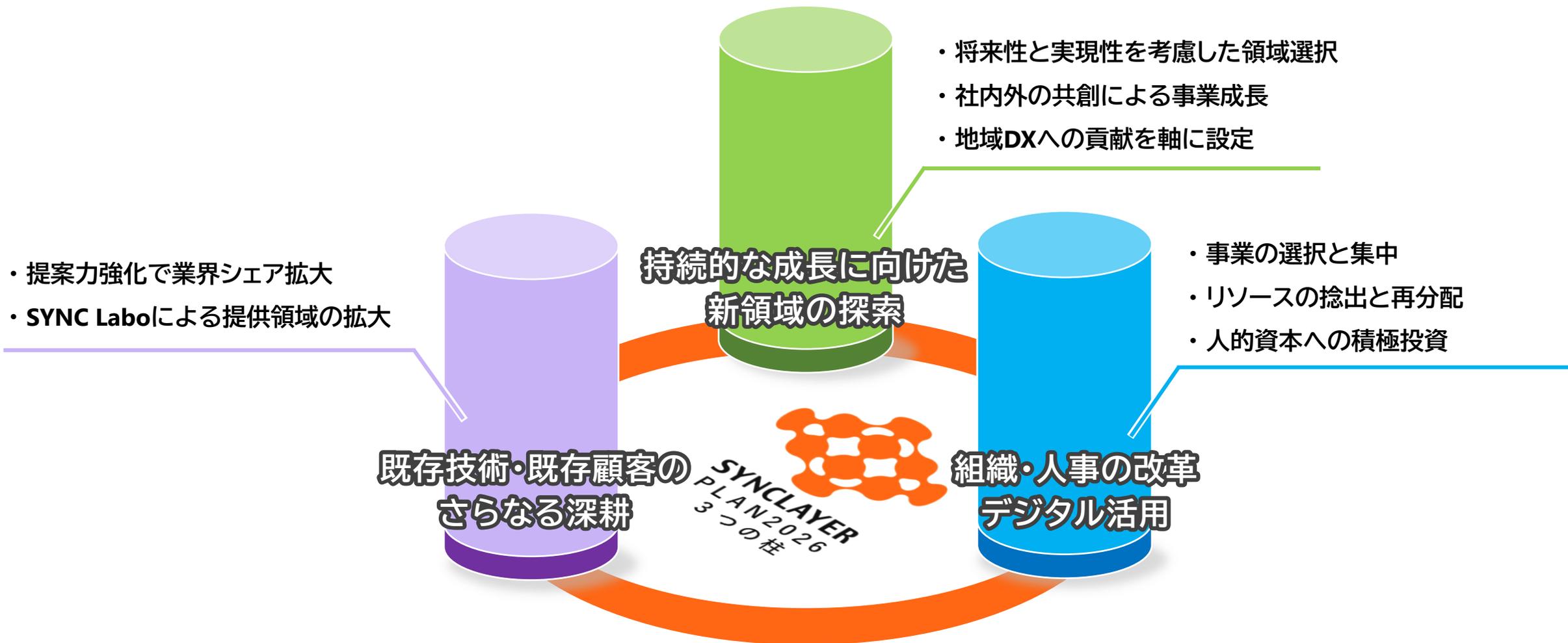
基幹システムリプレイス、デジタル技術の積極活用
時代に合わせた人事制度の改定



売上高	10,443百万円	11,711百万円	12,500百万円	13,300百万円
営業利益	546百万円	653百万円	750百万円	870百万円
経常利益	588百万円	741百万円	760百万円	880百万円
ROE	7.9%	9.2%	8.6%	9.0%

継続的成長のための3つの柱

事業基盤強化と成長領域の探索を両輪で回し、長期的に持続可能な強い企業を目指す



5月

■日本最大級のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」に入居

今後、目まぐるしく変化する放送・情報通信分野に対応し、インフラの未来を創造する一企業としてより飛躍するために入居。スタートアップや異業種とのつながりを広げ、新たな価値創出に取り組む。



■渋谷で初開催の銘酒イベントに地酒ARを提供

東京都渋谷区にて行われた銘酒イベント『THE CRAFT SAKE 銘酒で乾杯～信州編～』へ地酒ARRを提供。



6月

■ケーブルテレビ事業者向けプライベートセミナー

「Broadband Wave NEO 2025 in TOYAMA」を開催

当社の機器・システムを幅広くご紹介し、放送・通信業界のさらなる発展の一助となるよう、セミナーを開催。



■渋谷で開催された阿波おどりイベントへARサービスを提供

東京都渋谷区にて行われた『2025 THE AWAODORI - 序章 - 徳島の本気、渋谷で乱舞』へARサービスを提供。



市場環境を踏まえ、7月に“ケーブル技術ショー2025“に出展 「そこまでやるのか！シンクレイヤ」をブーステーマとし、来場者より高い評価を獲得

そこまでやるのか！？シンクレイヤ

1 最後までやるのか！？ CATV POTENTIAL!

- ・ケーブルテレビのサービス運用になくてはならない
通信・放送用のシステムを網羅的にご提案
- ・ケーブルテレビの誕生から携わっている
当社だからこそ、徹底した拘り

2 最後までやるのか！？ 既設集合住宅 POTENTIAL!

様々な課題により中々獲得が難しい既設集合住宅に対して、
セミオーダーメイドの通信高度化

3 最後までやるのか！？ ルーラル POTENTIAL!

エリア拡張したいが採算が見合わない、初期投資を抑えたい、
そんなルーラルエリアに対する攻めの一手

4 最後までやるのか！？ 地域DX POTENTIAL!

地域密着の強みを活かした行政や地元企業への提案や
新規事業など、未来に向けた可能性を提示



当社の最新情報を配信します

当社では、投資家の皆様に当社の最新情報をお届けするため、IRニュースメールの配信をいたします。

下記URLもしくはQRコードにアクセスいただき、必要情報をご入力の上、ご登録下さい。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=1724>



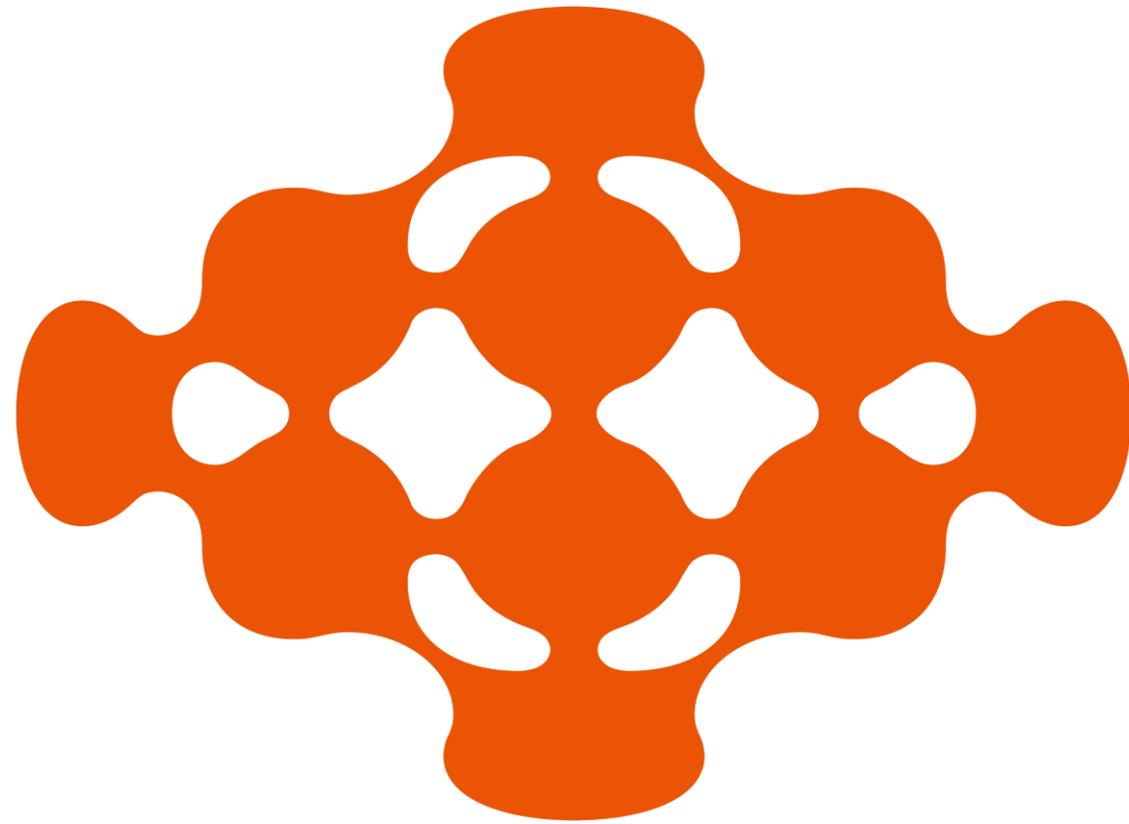
ホームページのご案内

シンクレイヤに関する様々な情報をホームページでご覧になれます。

ホームページでは「会社概要」や「IR情報」など多くの情報を発信しています。

<https://www.synclayer.co.jp>





SYNCLAYER

MAKING POTENTIAL A REALITY

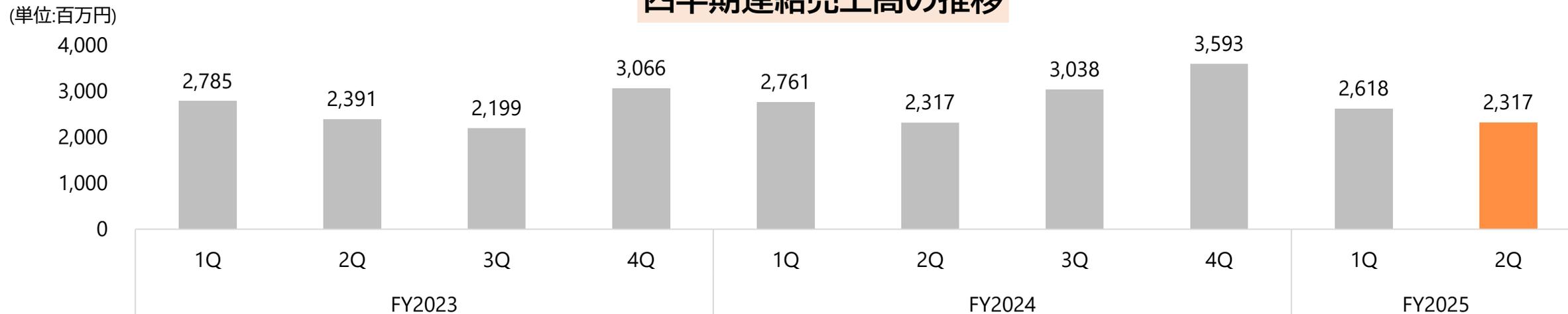
想いが伝わる未来をつくる

MAKING POTENTIAL A REALITY

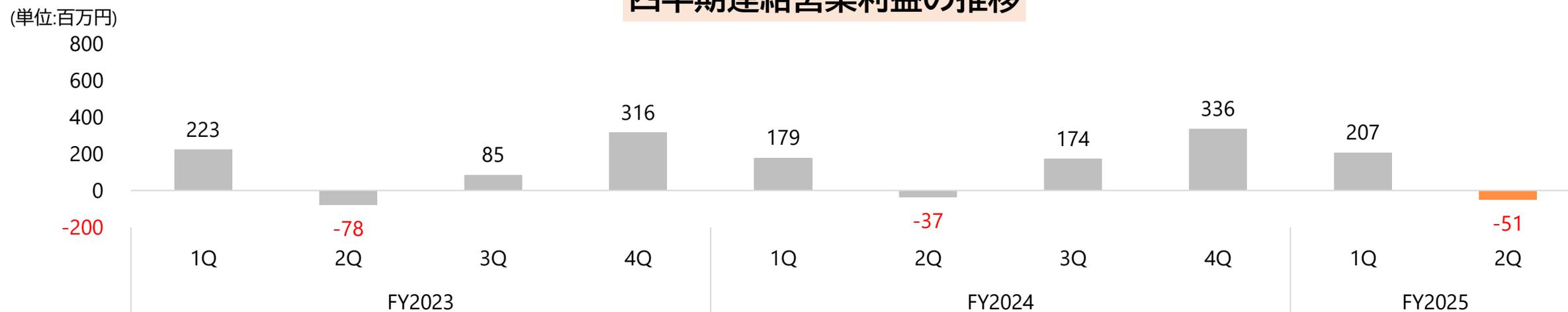
GIGABIT NETWORK SOLUTION
SYNTHETIC LAYER

APPENDIX

四半期連結売上高の推移



四半期連結営業利益の推移



2025年12月期業績(指標)

	FY2024 2Q累計	FY2025 2Q累計	前年同期比 (増減額/率)
自己資本利益率 (ROE)	2.03%	0.91%	▲1.12pt
1株当たり当期純利益 (EPS)	25.24円	12.04円	▲13.20円

	FY2024 期末累計	FY2025 2Q累計	前年期末比 (増減額/率)
自己資本比率	54.1%	62.8%	8.7pt
1株当たり純資産 (BPS)	1,320.51円	1,303.71円	▲16.80円

2025年12月期 中間 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	FY2024 2Q	FY2025 2Q	前年同期差	前年同期比
売上高	5,079	4,936	▲ 143	▲2.8%
売上総利益	1,033	1,050	17	1.7%
販売費及び一般管理費	890	894	3	0.4%
営業利益	142	156	13	9.7%
経常利益	168	98	▲ 70	▲41.7%
税金等調整前 中間純利益	168	98	▲ 70	▲41.7%
法人税等合計	51	42	▲ 9	▲18.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	117	56	▲ 61	▲52.2%

2025年12月期 中間 連結貸借対照表

(単位:百万円)

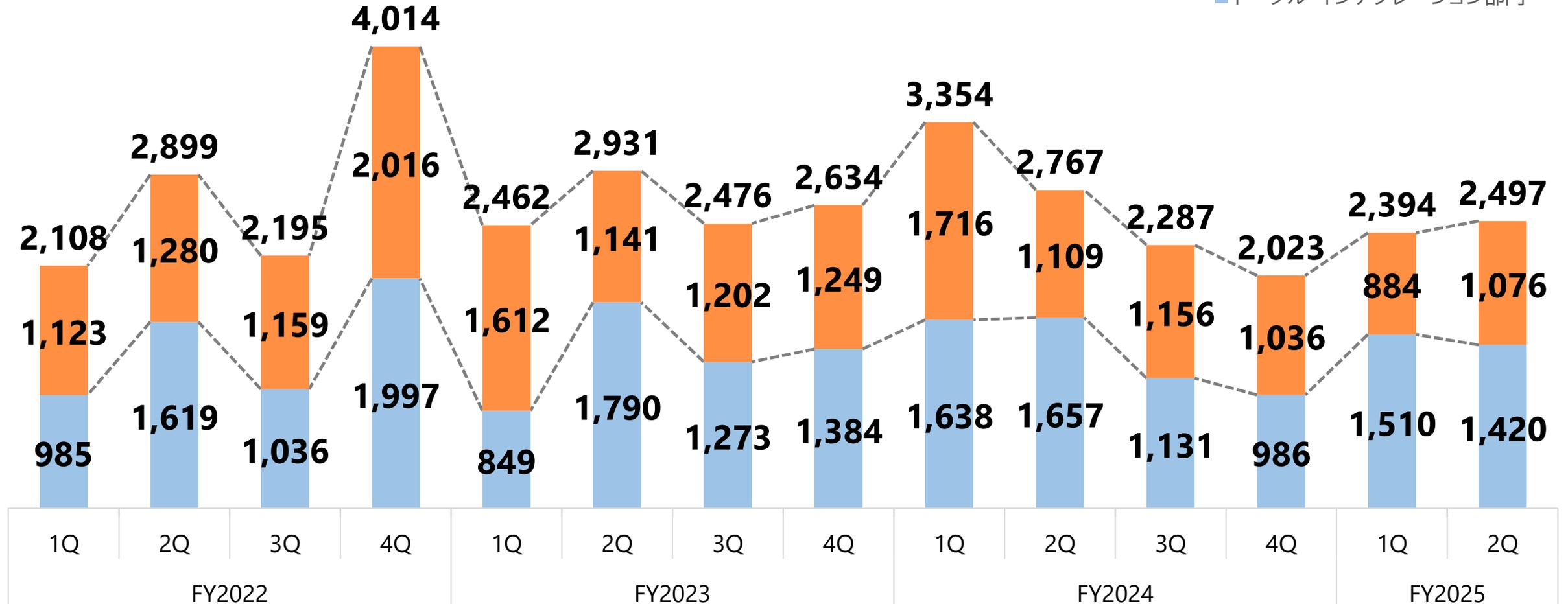
科目	FY2024 期末	FY2025 2Q	前期差
流動資産	7,544	5,892	▲ 1,651
固定資産	3,808	3,813	5
(うち 有形固定資産)	2,791	2,765	▲ 25
(うち その他固定資産)	1,016	1,047	31
資産合計	11,352	9,706	▲ 1,646
流動負債	4,433	2,750	▲ 1,683
固定負債	772	864	92
負債合計	5,206	3,615	▲ 1,591
純資産合計	6,146	6,090	▲ 55
自己資本比率	54.1%	62.8%	8.7pt

事業部門別 四半期受注高推移

受注高

(単位:百万円)

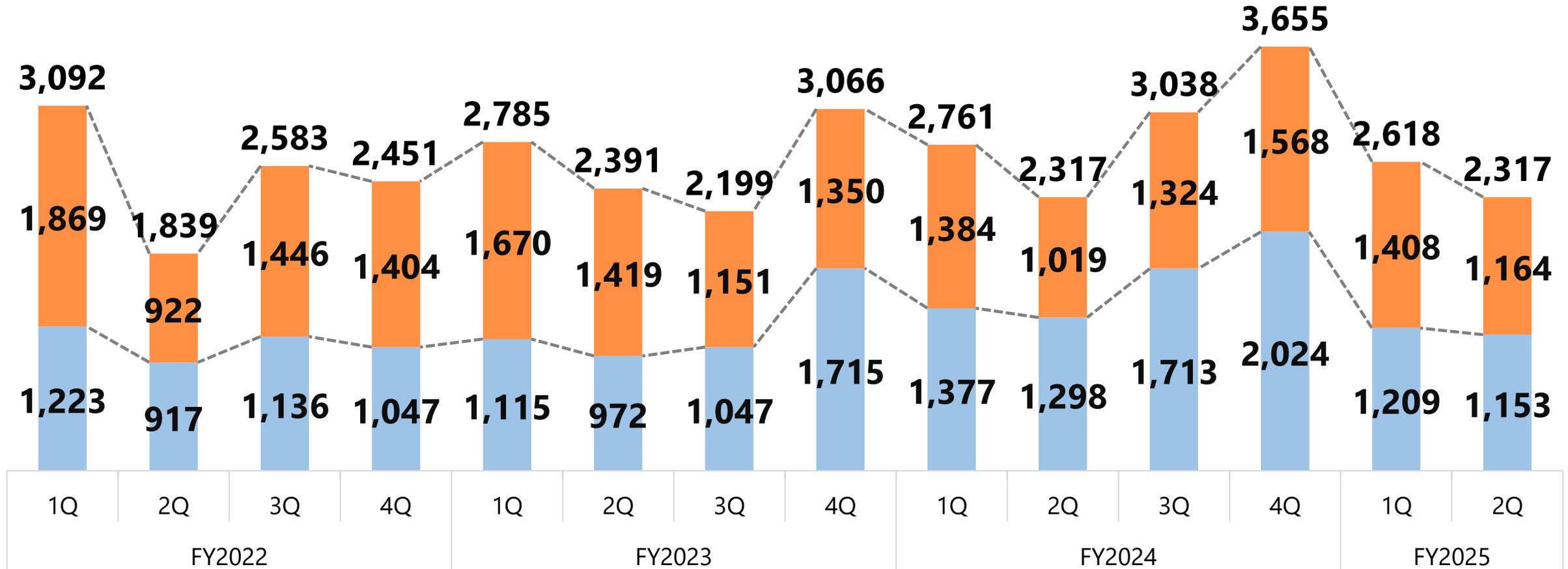
- 機器インテグレーション部門
- トータル・インテグレーション部門



事業部門別 四半期売上高推移

売上高 (単位:百万円)

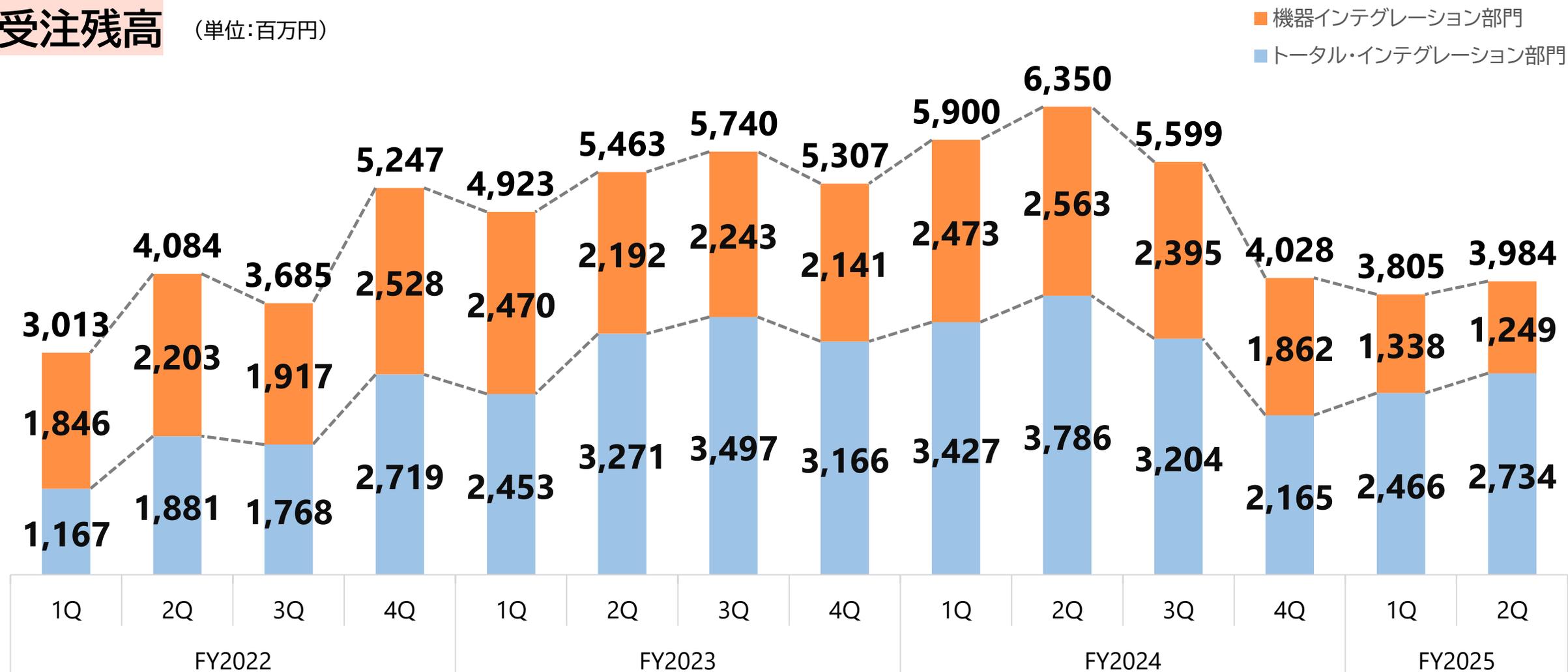
■ 機器インテグレーション部門
■ トータル・インテグレーション部門



事業部門別 受注残高推移

受注残高

(単位:百万円)



- ✓本資料は、投資の参考に資するため、シンクレイヤ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ✓本資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ✓今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- ✓本資料に記載の数値は、別途注記がある場合を除き、全て連結で表記しております。
- ✓本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いいたします。

■IRに関するお問合せ

MAKING POTENTIAL A REALITY

シンクレイヤ株式会社

広報室

TEL: 052-242-7875

E-mail: ir@synclayer.co.jp